



SecureLinux Spider



SecureLinux Spider クイック・スタート・ガイド



SecureLinx Spider

## SecureLinx Spider クイック・スタート・ガイド 目次

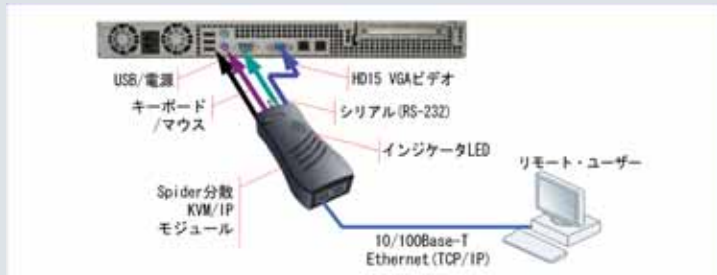
---

概要 .....	2
製品パッケージの内容 .....	3
設置およびネットワーク設定 .....	3-6
Spider の Web 設定 .....	7-9
ターゲット・コンピュータのセットアップ .....	9-10
クライアント・システムの要件 .....	10
ターゲット・コンピュータへの接続および基本操作 .....	11-12
終了およびログアウト .....	13
お問合せ先 .....	13

SecureLinX Spider™ (SLS) は、1人または複数のリモート・ユーザーが1つの(ターゲット)コンピュータ・システムをセキュアにリモート監視・制御できるように設計された分散 KVM/IP デバイスです。リモート・ユーザー(クライアント)は、標準的な Web ブラウザを使用し、LAN または WAN 接続を介して Spider にアクセスします。

2種類のモデルがあり、1つは PS/2 および USB の両方のキーボード/マウス・インタフェースを備え(ソフトウェアで選択可能)もう1つは USB 接続のみとなります。キーボード、マウス、USB ポート、およびビデオ用の各ケーブルは、先端のプラグが色分けされ、ターゲット・システムの対応コネクタに直接差し込むように設計されています。Spider をケーブルでぶら下げた状態にするか、または邪魔にならないように固定してください。

### Spider の構成



このクイック・スタート・ガイドでは、標準的な環境におけるハードウェアの設置および構成方法をステップごとに説明します。

### 製品パッケージの内容

製品パッケージには、Spider 分散 KVM/IP モジュールのほか以下のもが含まれています。

- スル・モデム DB9F - RJ45 シリアル・ケーブル
- 取り付けキット
- クイック・スタート・ガイド
- 説明書およびユーティリティを収めた CD-ROM

オプションとして外部 AC/DC 電源が用意されています(パーツ番号 520-085-R)。

### 設置およびネットワーク設定(続く)

#### シリアル・ポートおよび補助電源コネクタ



#### RS-232 シリアル・ポートのピン配列

ピン番号	ピン名	
1	RTS	(出力)
2	DTR	(出力)
3	TX	(出力)
4	GND	
5	GND	
6	RX	(入力)
7	DSR	(入力)
8	CTS	(入力)

## 設置およびネットワーク設定（続く）

## Ethernet およびカスケード・ポート



LED	色	動作状態
Pwr1	青	電源良好。電源 1 (USB1) から十分な電力供給があることを示します。
Pwr2	青	電源良好。電源 2 (USB2 または PS/2) から十分な電力供給があることを示します。
SysOK	緑	起動時に点滅し、順調に動作している場合は安定点灯になります。
Video	緑	ターゲット・サーバーからビデオ信号を受信していること (Vsync 検出) を示します。
Unit ID	オレンジ	オプションとしてユニット検出の補助用に点灯します。

## 設置およびネットワーク設定（続く）

1. 付属のシリアル・ケーブルの RJ45 コネクタを Spider のシリアル・ポートに差し込みます。DB9F コネクタは、端末エミュレーション (Hyper Terminal など) を実行している PC / ラップトップのシリアル (COM) ポートに差し込みます。デフォルトのシリアル・ポート設定は、**115200bps**、8 データ・ビット、パリティなし、1 ストップ・ビット、フロー制御なしです。
2. 通常、Spider の電源は接続サーバーから供給されます。Spider のビデオ・ケーブル、USB ケーブル、および PS/2 キーボード / マウス (使用する場合) ケーブルをターゲット・コンピュータに接続してください (デバイスを起動するための必要手順です)。青の電源インジケータ 2 個が点灯し、緑のシステム OK インジケータが点滅します。これは起動中であることを示し、約 1 分以内に起動が完了します。システム OK インジケータが点滅を止め、安定点灯状態になります。注：青のインジケータ 1 個では、電源が十分でないため起動できません。
3. 起動後、ターミナル・ウィンドウに **login** プロンプトが表示されます。デフォルトの IP 自動設定を DHCP から静的 IP アドレスに変更するときは、`config` と入力して **Enter** キーを押します。
4. **IP autoconfiguration** プロンプトに対しては、何も入力せずに **Enter** キーを押します。

## 設置およびネットワーク設定 (続き)

```
Welcome!
Choose a login for the following features:
-Initial IP configuration: "config".
-Reset device: "reset".
(none) login: config
IP autoconfiguration <none/dhcp/bootp> [dhcp]: none
```

5. プロンプトに従って、ユニットの **IP アドレス**、**サブネット・マスク**、**デフォルト・ゲートウェイ**、および **LAN インタフェース情報**を入力します。

```
IP [192.168.1.22]:
NetMask [255.255.255.0]:
Gateway <0.0.0.0 for none> [0.0.0.0]:
LAN interface speed <auto/10/100> [auto]:
LAN interface duplex mode <auto/half/full> [auto]:
Are the entered values correct? Enter y for Yes, n for No or c to Cancel y
Configuring device ...
Done.
```

6. **y**を入力して **Enter** キーを押し、変更を確定します。システムが処理を完了するのに約 10 秒かかり、login プロンプトに更新後の IP アドレスが表示されます。
7. ネットワークに接続した Ethernet ケーブルを Ethernet ポートに差し込みます。Link インジケータが点灯します。

## Spider の Web 設定 (続く)

1. 好みの Web ブラウザを使用して、ネットワーク経由で Spider にアクセスします。アドレス・バーに **https://** (セキュア SSL 接続の場合) または **http://** (非セキュア接続の場合) に続けて Spider の IP アドレスを入力してください。
2. プロンプトに対してユーザー名 (デフォルトは **sysadmin**) およびパスワード (デフォルトは **PASS**) を入力します。Spider のホームページが表示されます。



## Spider の Web 設定 ( 続く )

3. 主要な設定項目を以下に示します。

### キーボード / マウス :

- Web ページから **KVM Settings** → **Keyboard/Mouse** と選択します。
- ターゲット・インタフェースのキーボード / マウス設定をデフォルト ( **Auto** ) から PS/2 または USB ターゲット・インタフェースに変更するときは、**Target Interface** ドロップダウン・メニューから該当するオプションを選択してください。
- USB のマウス・タイプを変更する時は、**USB Mouse Type** ドロップダウン・メニューから該当する OS オプションを選択してください。
- Apply** をクリックして、設定を不揮発性メモリに保存します。

### セキュリティ :

- Web ページから **Device Settings** → **Security** と選択します。
- SSL 暗号化を必要とする場合は、**Force HTTPS for Web access** を選択します。
- Apply** をクリックして、設定を不揮発性メモリに保存します。

### ネットワーク TCP ポートおよびサービス :

- Web ページから **Device Settings** → **Network** と選択します。
- Network Miscellaneous Settings ( ネットワークの各種設定 ) の項目で、必要に応じて TCP ポートを変更します。クライアント・システムの要件として、Spider の IP アドレスにアクセスできるとともに、ポート 80 ( HTTP ) および 443 ( HTTPS ) が開いていなければなりません。システムのファイアウォールおよび NAT デバイスについて、これらの値の再設定または変更が必要とされる場合はシステム管理者にご相談ください。

## Spider の Web 設定 ( 続き )

### パフォーマンス :

- Web ページから **KVM Settings** → **User Console** と選択します。
- 必要ならば、Transmission Encoding ( 送信符号化 ) の項目で、より低速の接続に合わせてビデオ圧縮レベルおよび色の深度を変更します。

## ターゲット・コンピュータのセットアップ ( 続く )

Spider は複数のビデオ・フォーマットを認識し、最大解像度は 60Hz で 1280 × 1024 です ( サポートされているビデオ・フォーマットの種類はユーザー・ガイドを参照してください ) 。

ターゲット・コンピュータのビデオ解像度をリモート監視に必要とされる最低限度に設定して、帯域幅および電力消費を最小限に抑えます。推奨ビデオ・モードは以下の通りです。

800 × 600 @ 60Hz  
1024 × 768 @ 60Hz  
1280 × 1024 @ 60Hz

- Windows ターゲット・システム上で、**Control Panel** → **Display** → **Settings** と選択します。必要に応じて、画面解像度を変更してください。
- Control Panel** → **Display** → **Settings** → **Advanced** → **Monitor** と選択します。画面のリフレッシュ・レートを変更します ( ターゲット・コンピュータ上で標準的なビデオ・カードまたは別のオペレーティング・システムを使用する場合は、該当する適切な説明書を参照してください ) 。

### ターゲット・コンピュータのセットアップ（続き）

PS/2 マウス・インタフェースを選択した場合は、汎用マウス・ドライバを使用することによりリモート・セッション中の最適なマウス・コントロールが可能になります。マウス・ポインタの速度を中間に設定し、加速または自動移動の機能は使用しないでください。

3. Windows ターゲット・システム上で、**Control Panel → Mouse → Pointer Options** と選択してポインタの速度を中間に設定し、**Enhanced pointer precision (ポインタの精度を高める)** のチェックを外します。Linux GUI の場合はマウスの加速を 1 に正確に合わせ、閾値も正確に 1 に設定します。

### クライアント・システムの要件

クライアント・システムには、Web ブラウザ（Microsoft Internet Explorer、Mozilla Firefox、Netscape Navigator など）および Java Virtual Machine（バージョン 1.4 以上）がインストールされていないと正常に動作しません。Web ブラウザで Java を有効にしてください。



### ターゲット・コンピュータへの接続および基本操作（続く）

1. Web ブラウザの Spider ホームページから **Remote Console Preview** リンクをクリックして、接続ターゲット・コンピュータのリモート制御を開始します。Lantronix SLS Remote Console の Java アプレットが専用ウィンドウ（Spider の Web ブラウザの手前または後ろ側）で起動します。




**注：** Web ブラウザの Spider ホームページを閉じないでください。ホームページを閉じると、Lantronix SLS Remote Console ウィンドウとの接続が切断されます。

## ターゲット・コンピュータへの接続および基本操作（続き）

2. リモート・ターゲット・システム内で操作する時は、画面上でマウスを Lantronix SLS Remote Console ウィンドウに移動します。これにより、リモート・ターゲット・システムの画面上でマウスを動作させることができます。
3. 画面表示を最適化するには、上部メニュー・バーのビデオ調整アイコン  をクリックします。
4. 複数の Remote Console ウィンドウをデスクトップに合わせて表示したい時は、プルダウン・メニュー・バーから **Options** → **Scaling** と選択して、Remote Console ウィンドウのサイズを縮小します。
5. ローカル・カーソルとリモート・カーソルが同期していない時は、**Sync**  ボタンをクリックします。**Sync** ボタンで2つのカーソルが同期しなければ、**Options** → **Mouse Handling** → **Intelligent Sync** と選択してください。
6. Remote Console ウィンドウ内でローカル・カーソルの表示を抑止するには、**Options** → **Mouse Handling** → **Mouse Mode** → **Single Mouse Mode** と選択し、ウィンドウ内でクリックします。左 Alt キー + F12 を押せば、ローカル・カーソルが再び表示されます。
7. Remote Console ウィンドウ内でローカル・カーソルとリモート・カーソルを区別したい時は、**Options** → **Local Cursor** と選択して適切なカーソル・タイプを選択してください。

## 終了およびログアウト

1. Lantronix SLS Remote Console を終了する時は、 ボタンをクリックしてウィンドウを閉じます。
2. ブラウザ上で Spider の Web ページからログアウトする時は、**Logout** をクリックします。

## お問合せ先

ご質問および技術サポートについては、オンライン・ナレッジ・ベース（[www.lantronix.com/support](http://www.lantronix.com/support)）または、下記までお問い合わせ下さい。

株式会社昌新 情報システム営業部

東京都中央区日本橋室町1-7-1 スルガビル6階

電話：03-3270-5926 FAX：03-3245-1695 Email：[is@shoshin.co.jp](mailto:is@shoshin.co.jp)

[www.shoshin.co.jp](http://www.shoshin.co.jp)